

今月の推薦句

山田真砂年

天竜川涼し歎乃一声波しぶき

北原昭子

風知草朝の陽射しののびやかに

今村博子

山開きこよなき鳥の声が降り

小見戸 実

卯の花腐し線路のバラス赤茶けて

滝代文平

海青し若駒佇てる崖つ縁

上田信隆

早苗饗のまづは一献父と神

林 恵美子

掌の蝌蚪が尾を振る進まざる

大坪正美

芭蕉布の風通しよき身八つ口

沼田布美

木下闇栞の先の蜻蛉玉

飛田小馬々

相寄ればたちまち離れ水すまし

池田角之助

日除けて並ぶ嬰兒の足の裏

永井三枝

芍薬やくしやくしやほどけ蕊あらは

安藤裕子

地上げ屋の目こぼし路地や神輿ゆく

高田 峰

夏燕雨の匂ひの風を切る

山田ゆい子

利酒のやうに薔薇嗅ぐ男かな

原田白鷗

補聴器をはづし車窓の春の山

藤巻佳子

新緑や寄木細工の土産買ふ

相澤美佐子

雁木通り長靴の春泥こそげ

石関二三子

鉢叩く陰より目高びゆんと出る

山本ルミ

明易し頬をかすめし猫のひげ

瀧本 萌